

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局 障害福祉部 障害福祉課
評価対象期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

## 1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立若松ひまわり学園	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市若松区原町 1 2 番 3 4 号		
	設置目的	障害のある児童を日々保護者の下から通わせて、社会的自立生活へ向けての援助、学習の指導、健康管理その他の支援を行うことにより、障害児の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市福祉事業団		
	所 在 地	北九州市八幡東区中央二丁目 1 番 1 号		
指定管理業務の内容		児童発達支援センターの管理運営。 施設の維持管理。		
指定期間		平成 2 3 年 4 月 1 日～平成 2 8 年 3 月 3 1 日		

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点																																								
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		50		35																																								
(1) 施設の設置目的の達成		25	3	15																																								
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。																																												
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。																																												
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。																																												
<p><b>[評価の理由、要因・原因分析]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害児へのニーズ増大にあわせ、定員【30名】を超過して障害児通所支援を行っている（国基準によると定員の125%までが、おおよその適正利用者数とされている。当該数値を超えない範囲での受け入れを行っており、アンケート結果及び事故報告書においても定員超過による影響は確認されない）。また、行事に保護者が参加しやすいように土曜日も開園するなど開園日数を増やしている。</li> <li>また、開園日数を平成24年度248日から平成25年度252日と増加し、長期休暇の短縮を図り保護者の負担軽減を図っている。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>障害児通所支援</th> <th>【参考】H22（更新前）</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>30名</td> <td>30名</td> <td>30名</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>34名</td> <td>35名</td> <td>35名</td> <td>36名</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年10月より新規給付サービスとして、3ひまわり学園（到津・若松・引野）で保育所等訪問支援の指定を受けサービスを開始した。若松ひまわり学園では61件の支援を行っている。</li> <li>到津・若松・引野の3つのひまわり学園合同勉強会を実施し、待機児童や地域の保育所・幼稚園に通園している児童やその職員への支援事業（地域支援の取り組み）を実施している。</li> <li>外来療育では、外来相談（目標未設定）、短時間通園、巡回相談（目標未設定）などを継続して行っており、地域療育支援を行う役割を十分に果たしている。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>外来相談</th> <th>【参考】H22（更新前）</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績</td> <td>未実施</td> <td>186件</td> <td>215件</td> <td>159件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>短時間通園</th> <th>【参考】H22（更新前）</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>700件</td> <td>900件</td> <td>800件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>未実施</td> <td>937件</td> <td>1,108件</td> <td>1,653件</td> </tr> </tbody> </table>					障害児通所支援	【参考】H22（更新前）	H23	H24	H25	定員	30名	30名	30名	30名	利用者数	34名	35名	35名	36名	外来相談	【参考】H22（更新前）	H23	H24	H25	実績	未実施	186件	215件	159件	短時間通園	【参考】H22（更新前）	H23	H24	H25	目標値	—	700件	900件	800件	実績	未実施	937件	1,108件	1,653件
障害児通所支援	【参考】H22（更新前）	H23	H24	H25																																								
定員	30名	30名	30名	30名																																								
利用者数	34名	35名	35名	36名																																								
外来相談	【参考】H22（更新前）	H23	H24	H25																																								
実績	未実施	186件	215件	159件																																								
短時間通園	【参考】H22（更新前）	H23	H24	H25																																								
目標値	—	700件	900件	800件																																								
実績	未実施	937件	1,108件	1,653件																																								

巡回相談	【参考】H22 (更新前)	H23	H24	H25
実績	未実施	132 件	133 件	68 件

- ・パンフレットや広報誌の配布のほか、ホームページの更新（15 回）など情報発信に努めている。
- ・保護者勉強会を年 23 回開催し、その方法もニーズに応じて工夫するなど、充実した保護者支援を行っている。
- ・独自の取り組みとして、「ドキドキッズ若松」を実施し、様々な経験や遊びを通して情操の発達を図っている。

## (2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	25	4	20
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。			
⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

### 【評価の理由、要因・原因分析】

- ・アンケート調査の結果を要素ごとにみると、88%から 97%、平均で 94%と総合的に利用者の満足度は高いものとなっている。さらに、「とてもよい」の割合が他の 3 ひまわり学園に比べて高い。

	【参考】H22 (更新前)	H23	H24	H25
目標値	90%以上			
満足度平均	92%	98%	97%	94%
スタッフ接遇	97%	93%	98%	97%
情報提供	88%	88%	98%	95%
サービス内容	97%	91%	95%	94%
施設関係	93%	98%	98%	95%
緊急時	86%	89%	96%	88%

- ・保護者会「ひまわり会」と常に情報交換を行い、幅広く保護者の要望を収集している。
- ・少人数制の保護者勉強会を開催し、障害に応じたケース検討を行い、児童の特性に合った対応をしている。
- ・園独自のアンケートを行い、結果は、紙面で掲示するなど、全職員で把握し検討を行

<p>っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族への情報提供として「月のお知らせ」を配布しているほか、学園での療育を家庭に反映させるようホームプログラムを提供したり、就学に向けた情報提供として「引継ぎシートを作成したりしている。</li> <li>・ 外出行事や園内行事の際、地域ボランティアを受け入れ（H24→H25 73人→91人）、地域との交流を重ねている。</li> </ul>																		
<b>2 効率性の向上等に関する取組み</b>	<b>15</b>		<b>9</b>															
<b>(1) 経費の低減等</b>	15	3	9															
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。																		
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。																		
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。																		
<p><b>[評価の理由、要因・原因分析]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員が施設内外の清掃（毎日）や園庭の除草や整備（月1回）、建具の軽微な修理を行うなど経費削減に努めている。</li> <li>・ 障害により体温調節が困難な児童等を処遇しながらも、適切な消費電力を維持している。</li> </ul>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>【参考】H22（更新前）</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費電力実績</td> <td>22,009kwh</td> <td>21,863kwh</td> <td>22,776kwh</td> <td>25,688kwh</td> </tr> <tr> <td>水道光熱費実績</td> <td>1,660千円</td> <td>1,603千円</td> <td>1,693千円</td> <td>1,566千円</td> </tr> </tbody> </table>				年度	【参考】H22（更新前）	H23	H24	H25	消費電力実績	22,009kwh	21,863kwh	22,776kwh	25,688kwh	水道光熱費実績	1,660千円	1,603千円	1,693千円	1,566千円
年度	【参考】H22（更新前）	H23	H24	H25														
消費電力実績	22,009kwh	21,863kwh	22,776kwh	25,688kwh														
水道光熱費実績	1,660千円	1,603千円	1,693千円	1,566千円														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清掃、設備保守点検については再委託を行っており、業務は適切に行われている。</li> </ul>																		
<b>(2) 収入の増加</b>	-	-	-															
① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。																		
<p><b>[評価の理由、要因・原因分析]</b></p> <p>提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。</p>																		
<b>3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み</b>	<b>35</b>		<b>21</b>															
<b>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況</b>	15	3	9															
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。																		

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。			
<p><b>[評価の理由、要因・原因分析]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人員配置については指定基準に応じた人員が配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。</li> <li>・ 職場内研修（救命、人権、発達障害とは、専門研修など）27 回の実施や、職場外研修（感覚統合、TEACCH《自閉症用プログラム》など）39 回として参加させている。</li> <li>・ 地域職員勉強会 2 回、深町どんぐりのもり保育所との交流保育実施（8 回）、「おひさまのいえ」の協力による活動を 8 回実施した。</li> <li>・ 実習生の受け入れ（社会福祉実習生受け入れ 35 人、延べ 282 人、保育士 30 人）を行った。</li> </ul>			
<p><b>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</b></p>			
① 施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。	20	3	12
② 施設の利用者に対する身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。			
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
<p><b>[評価の理由、要因・原因分析]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「事業団個人情報規定」「個人情報保護指針」に基づき管理徹底を行っている。</li> <li>・ 人権研修を開催し、人権の尊重、身体拘束及び虐待の禁止を徹底している（具体事例はなし）。</li> <li>・ 安全点検を定期的実施、「ひやりはっと」を毎日朝礼で報告、手洗い・消毒の励行などにより日常の事故防止や安全対策などの取り組みを実施している。</li> <li>・ 老朽化した施設一部を修復し、事故予防に努めた。</li> <li>・ 施設と事務局の緊急連絡網の整備、災害時の職員配備の策定を行い、若松消防署の協力のもと、様々な事態を想定した避難訓練を実施し、危機管理体制をとっている。</li> </ul>			

【総合評価】

合計得点	65	評価ランク	C
<p>【評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画に沿って、施設の適切な運営管理を行っており、利用者の満足度も高いものとなっている。</li> <li>・ 利用者へのサービスの質の維持・向上に努めるだけでなく、ホームプログラムや「月のおしらせ」による情報提供など細やかな保護者支援を行っており、職員同士の情報共有を細かく行っている。</li> <li>・ 地域住民のボランティアを受け入れたり、地域と合同で避難訓練を行ったり、職員が地域の清掃活動に参加したりと、地域との交流活動を活発に行っている。</li> </ul> <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、施設の管理運営を適切に行い、利用者へのサービス向上に努めるとともに、関係機関との積極的な交流活動により、障害児支援の地域の拠点としての役割を果たすことを期待する。</li> </ul>			

【北九州市指定管理者の評価に関する検討会議における意見】

独自アンケートの結果を全員で把握し、その対応を検討していることや児童の特性に応じた対応をしている等により、高い利用者満足度を得ていることは、評価できる。

今後も、施設の設置目的達成に向けた、適正な管理運営の継続と、更に施設の魅力を向上させる取組みを期待したい。

【評価レベル】

評価レベル	乗率		評価レベルの考え方
5	100%	良	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%	↑	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%	↓	要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

## 【総合評価】

- S : 総合評価の結果、特に優れていると認められる  
(合計得点が90点以上)
- A : 総合評価の結果、優れていると認められる  
(合計得点が80点以上90点未満)
- B : 総合評価の結果、やや優れていると認められる  
(合計得点が70点以上80点未満)
- C : 総合評価の結果、適正であると認められる  
(合計得点が60点以上70点未満)
- D : 総合評価の結果、努力が必要であると認められる  
(合計得点が50点以上60点未満)
- E : 総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる  
(合計得点が50点未満)